

永野小学校・学校だより(12月)

永野小学校中期学校運営計画

校長 志賀 光雄

校庭の桜やけやき、また環状2号線沿いの木々の紅葉が今秋は例年になく素晴らしいと感じています。いちょうの葉が色づくのはもう少しあとになるのですが、その時期には天神山のいちょうも見事な黄色を見せてくれることでしょう。

11月14日から2泊3日で5年生の体験学習を行いました。3日間とも見事な晴天に恵まれ、子どもたちが考えた全ての計画を実施することができました。この学校だよりも子どもたちの感想が掲載されていますが、思い出いっぱいの体験学習になったのではないかと考えています。静寂の中で見上げた星空、「燃えろよ 燃えろ」と、大声を出して盛り上がったキャンプファイヤー、そして一人ひとりの興味に基づいて取り組んだ選択活動。学年で、学級で、仲間同士で、そして個人でと、様々な活動の中で、子どもたちの輝く姿や笑顔にたくさん出会いました。

この5年生の体験学習が終わると、季節はすぐに12月、学校は新年度の準備を始める時期となります。

先日お願いしました「学校づくり」アンケートも来年度に向けての大切な資料です。全体集約が出来次第、ダイジェスト版のような形でお渡しできると思います。ご協力ありがとうございました。このほかにも高学年の子どもたちの学校生活上のアンケートや教職員によるアンケートなど様々な視点からの意見集約を行いながら、次年度の学校運営計画を立てていきます。

それに加え、今年度は横浜市教育委員会が定めた「学校版マニフェスト」に基づき、この12月から平成23年3月末までの「永野小学校運営計画（中期学校運営計画）」を策定しました。

この「運営計画」の内容につきましては、今年度の「学校説明会」でお話させていただいたことをベースにして、その後の子どもたちの様子や学校をめぐる状況の変化などを勘案して策定しました。

策定に当たって大切に考えたのは、まず子どもたちの学力についてです。

今年度実施した横浜市学習状況調査によりますと、本校全体としては、どの学年、どの教科、あるいはどの観点におきましても、横浜市全体の平均とほぼ同じです。そして、高学年になるにつれて、市をやや上回る傾向があることから、子どもたちの学習の成果が表れてきていることを感じます。今後の課題としては、この傾向をきちんと定着させ、更に確固たるものにさせていくとともに、低学年の子どもたちへの学習指導の充実を図っていくことが重要であると考えています。

次に大切に考えたのは、今、全国的に問題になっている「いじめ」の問題です。本校では、「いじめ」を起こさないための指導に力を入れてきてはいますが、子どもたちの様子をみていると、相手を傷つけかねない言動が随所にみられます。この「運営計画」では、「豊かな人間関係づくり」という言葉で改善の視点に掲げ、取組目標を設定しました。学級集団づくりやたてわり活動、また、教職員全員の目による子どもたちのみとりを通して、子どもたちの現状をしっかりと認識するとともに、人と人が信頼し合うこと、人と人が協力し合うこと、仲間と同じ目標に向かって努力することなどのすばらしさを感じ取らせるとともに、人のいたみを感じ取れる子どもたちを育てていくことが大切だと考えています。

今年はこの号が最後になります。

少し早いですが、今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。